

2026年度 山びこ

今年度の人権教育講座「山びこ」も、各分野で活躍されている方を講師にお招きします。人とかかわりや人権について考える時、きっとあなたの参考になる講座です。

申込不要・無料(定員に達したときは入場できません。)

共催：生駒市・生駒市人権教育推進協議会

	開催日・会場	テーマ	講師
第1回	7月11日(土) 13:00～15:00 たけまるホール (大ホール)	ちがいを楽しむ ～いま君のいる場所だけが、 世界のすべてじゃない～	俳優・タレント そえじま じゅん 副島 淳 さん
第2回	7月25日(土) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	南極の経験からの メッセージ ～身のまわりの「あたりまえ」 に目を向けよう～	奈良先端科学技術大学院大学 職員(派遣当時) やまおか まなみ 山岡 麻奈美 さん
第3回	9月18日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	新しい障害のとらえ方 ～よりよい共生社会を めざして～	生駒市立桜ヶ丘小学校 通級指導教室担当 たかはし じゅんじ 高橋 順治さん
第4回	10月23日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	「やさしく まじめに おもしろく」 ～紙芝居で伝える 「命」「平和」「人権」～	絵語りすと はたなか ひろゆき 畑中 廣之 さん
第5回	12月4日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	地域のまほうが支える 子どもたちの居場所 「チロル堂」	まほうの다가しやチロル堂 共同代表 いしだ よしこ 石田 慶子 さん
第6回	1月23日(土) 13:30～15:40 たけまるホール (大ホール)	映画 「35年目のラブレター」	●過酷な幼少期を過ごしてきたために、読み書きができないまま大人になってしまった主人公・西畑 保。保を支え続けた妻・餃子。互いに寄り添いながら生きてきた二人。定年退職を機に保はある決意をする。最愛の妻にこれまでの感謝を込めた“ラブレター”を書く。60歳を超えた保の長い奮闘の日々が始まった。
第7回	2月27日(土) 13:30～16:00 たけまるホール (大ホール)	市人推協研究大会記念講演 発達障害 ～ともにイキイキ 生きるには～	落語家・天台宗道心寺住職 つゆ ごくらく 露の五九洛 さん & 太神楽曲芸師 ほうらい や だい じ ろう 豊来家大治朗 さん

【お問い合わせ】生駒市人権教育推進協議会(生駒市役所人権施策課内) 0743(74)1111

やまなみ

広報 NO.59

生駒市人権教育推進協議会

事務局 生駒市総務部人権施策課内

TEL 0743-74-1111

email: jinkenkyouiku@city.ikoma.lg.jp

発行 2026年5月22日

第7回「山びこ」講座 2月28日(土) 第53回生駒市人権教育推進協議会—研究大会

活動報告：生駒市保護司会 「人」とじっくり向き合い「人」を大切にする活動

報告者：生駒市保護司会 研修部長 辻本 光夫 さん



保護司の辻本光夫さんによる生駒市保護司会の活動報告でした。犯罪や非行をした人の立ち直りを助け、再犯を予防するとともに、地域の犯罪や非行を未然に防ぐ啓発の活動、保護司自身の研鑽の研修を重ねる活動です。特に、少年院や刑事施設を経た人の社会復帰に向けて生活環境を整える活動や、保護観察対象の人との定期的な面談などは、対象者本人をはじめとして家族や地域の人など、「人」と根気よくじっくりと向き合う活動で、「人」を大切にする心に支えられた活動でした。私たちの知らなかった地道な活動に感謝の思いを新たに報告でした。

記念講演：「ヤブにもなれないタケノコ医者」～父との約束～

講師：医療法人水野クリニック 理事長
医学博士(内科・循環器科) 水野 宅郎 さん

「医者兼底辺YouTuberの水野です」という自己紹介から始まった講演。「今は医者をしていますが19歳の頃、少年院に入っていました」「生きていても意味がない」そんな思いの中、父に手紙を送ります。「少年院には来ないで下さい。僕みたいなどしようもない人間のために迷惑をかけてしまってすいません」しかし、父からの手紙には「そんなに自分を蔑むな。お前は今でも自慢の息子だ」と書かれていました。少年院で自分を見つめ直す中で思い出したのは幼い頃に父にした約束でした。「僕、お父さんみたいな医者になりたい」出院後、その夢を打ち明けても、ほとんどの人から「あきらめて働きなさい」と笑われるだけ。しかし、担当の保護司は真剣に受け止め、「1回や2回の失敗、気にするな。諦めんかったらいいけるやろ」と励ましてくれました。その後も猛勉強を重ねて念願の医師になり、父の医院を継承します。コロナ禍、どこの病院も発熱患者を診ない時期、「自分は何のために医者になったのか」と発熱外来を設け、6000人もの患者さんを診ます。昼夜問わず、365日診療。やっと、誰かの役に立てた気がしたと……。思い出すのは「俺はヤブ医者だけど、お前はヤブにもなれないタケノコ医者や。人に助けられてやっと一人前や。人を大切にしろ」と語った父の言葉。その言葉を胸に人と地域のために日々奮闘されている姿に心を打たれる講演でした。



第4回「山びこ」講座 11月14日（金）

「ヤングケアラー」

～家族をケアし、支える子どもたち～

講師：社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理士

京都光華大学教授 越智 紀子 さん



本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもや若者は「ヤングケアラー」と呼ばれ、近年、社会的な関心が高まっています。一方で、その実態や困難の理解は、まだ十分とは言えません。ケアを担う経験そのものが一概に否定されるものではありませんが、その負担が過度になったり長時間に及んだりする場合には、健康や学習、進路選択などに影響を及ぼすこともあります。また、子ども自身がそれを特別なことと認識していなかったり、その負担をうまく言語化できず、抱え込んでしまうこともあります。講座では、ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちの現状を知り、地域の中でその育ちをどう支えていくのか、何ができるのかを考えました。また、学校、福祉、地域など様々な立場から子どもの状況に気づき、相談や支援につながる仕組みを分かりやすく整えていくことの重要性が共有されました。参加者からは、「ヤングケアラーの現状について、改めて深い課題を実感しました。子どもたちが安心して相談できる環境づくりや、周囲が気づいて支えられる体制が必要だと感じました」といった感想が寄せられ、一人ひとりが自分事として考えるきっかけとなりました。

第5回「山びこ」講座 12月12日（金）

「ウトロで終わらない、ウトロの話」

～差別と分断を乗り越えた力～

講師：ウトロ平和祈念館

副館長 金秀煥 さん



戦前に飛行場建設のために朝鮮半島からウトロ地区に渡ってきた人たちが、飛行場建設が中断された戦後には、劣悪な環境のなかで生活していたこと、行き場もないなか、立ち退き請求を受けるなどの困難にみまわれた歴史、そのうえ、偏見に満ちたSNS配信をうのみにした青年の放火による被害を受けた困難を、日本人市民などとともに乗り越えてきたことのお話でした。ウトロ平和祈念館での交流のお話から、ネットやメディアの情報の真偽をみきわめ、交流や対話で互いの理解を深めることが、差別をなくすためにはとても有効で大切であるとあらためて気づかされた講演でした。

戦後80年の年にパネル展開催
「ヒロシマとナガサキ 原爆と人間」
日本原水爆被害者団体協議会制作



戦争体験者が減る中で戦争を遠い過去の話にならないように、戦争を次世代に継承していくことの大切さを広くみなさんに訴えました。

第6回「山びこ」講座～平和・人権コンサート～ 1月24日（土）

みんな大切な命



ヒロシマのソプラノ歌手大島久美子さんによる歌、語りを通して平和とは何かあらためて考える時間となりました。

「戦争が無いことだけが平和でしょうか？」

人権啓発 DVD を貸出しています！
身近な「人権」のことを考えるきっかけにしませんか？

新しい「じんけん DVD」の紹介

「君の景色を知ったとき」 (30分)



就活に失敗し大学5年生となった蓮は、図書館でバイトを始める。ある日、視覚障害がある利用者健介と健介行きつけのカフェのブラジル人店員ジュリアと出会う。何気ない会話から、健介とジュリアが視覚障害がい者・日本に住む外国人として日々、困っていることを知る蓮。それらはすべて、蓮が日々当たり前前に利用しているものばかりだった。驚く蓮に健介はこう話す。「大多数の人にとっての当たり前から、こぼれ落ちる人がある。と……。」

「見上げれば」 (34分)



大学入学後に引きこもるようになった主人公の陽人。ある日、陽人の元に中学の同級生だった樹からゲームのリンクが送られてきた。オンラインで交流するようになり昔のように楽しさを感じ、心を開いていくが、父の理解のない言動に辛かった過去を思い出してしまふ。さらに樹が陽人に接触してきたのは母が頼んだからだと誤解して再び心を閉ざしてしまふ。心配した樹がたずねてきて「ただ陽人に会いたかっただけだ」と語る。数日後、樹が周囲と連絡を絶っていることを知った陽人は……。

人権をテーマにしたDVDの貸し出しをしています。人を大切にする、自分らしく生きること、多様性を認めること、人とつながりをつくることなど、さまざまなテーマのDVDがあります。

自治会や各種団体の集まり、サロン、幼稚園、保育園、こども園、学校、PTA・育友会、子ども会、同好会やサークル、ご家庭や個人など、人数の多少にかかわらず学習や研修にご利用ください。

現在88本の作品をそろえています。各DVDの内容を紹介した冊子「じんけんDVD2026」も用意しています。「じんけんDVD2026」は、市人推協のHP、または下記QRコードからもご覧いただけます。



<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000025254.html>

2025年貸し出しの
多かったDVD

「みんな笑顔になる日まで」
「わかカフェへようこそ」
「大切な人」
「ヒーロー」

ここに紹介したもの以外に子ども向けの作品や、様々な課題をとらえた作品がありますので、気軽にお問合せください。

生駒市人権教育推進協議会
(生駒市役所人権施策課)
TEL 0743-74-1111

※各DVDの写真は、兵庫県人権啓発協会、東映株式会社の資料です。許可を得て掲載しています。